

はじめに
基本構想
基本計画
目指す村の姿1
目指す村の姿2
目指す村の姿3
目指す村の姿4
目指す村の姿5
目指す村の姿6
目指す村の姿7
資料編

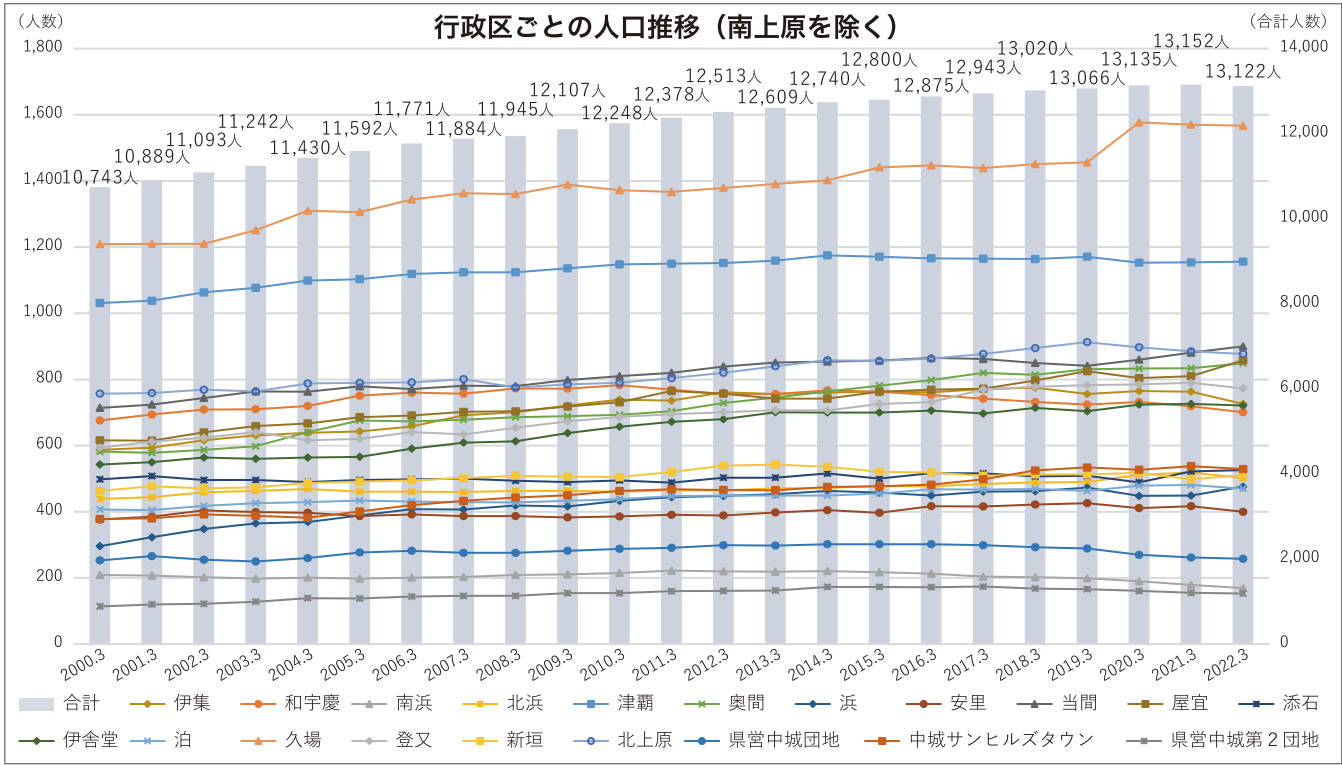
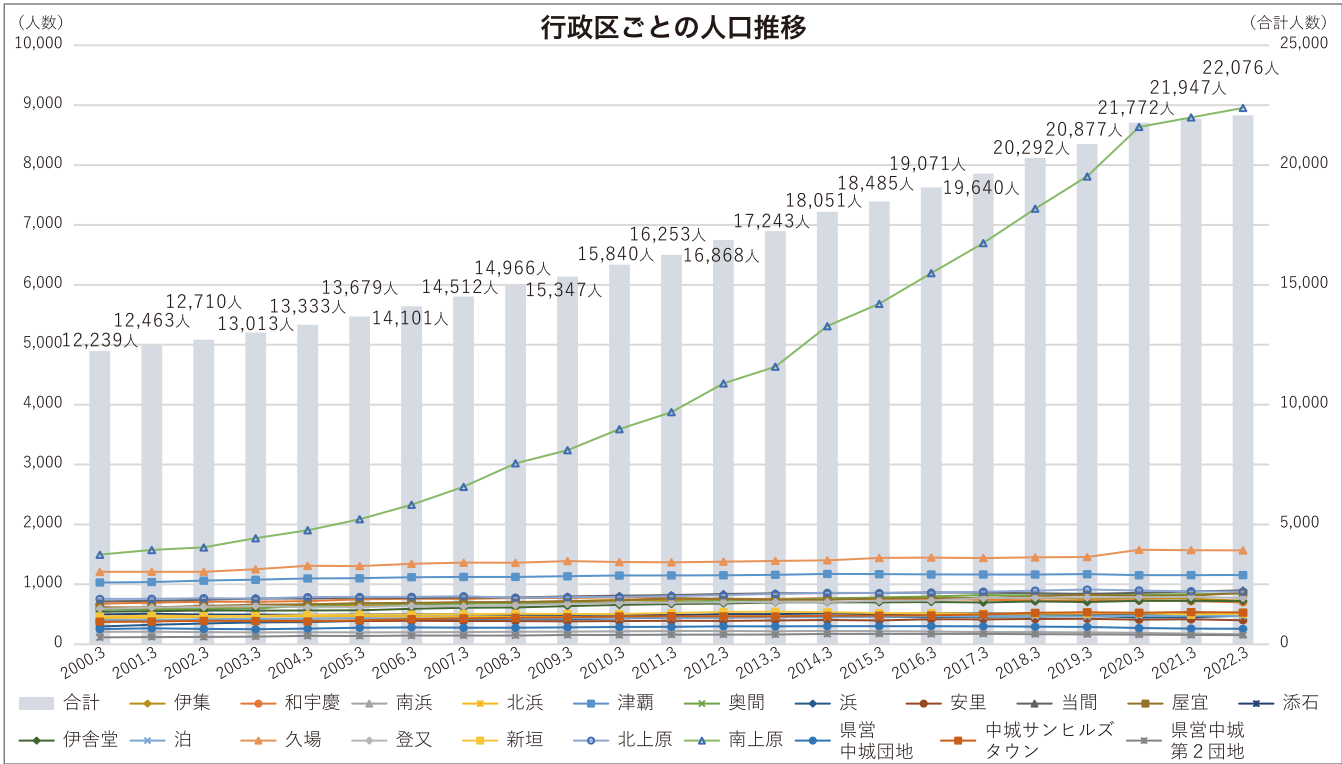
資料編

資料編 1. 統計からみる中城村の現状

本村の現状について以下に整理します。

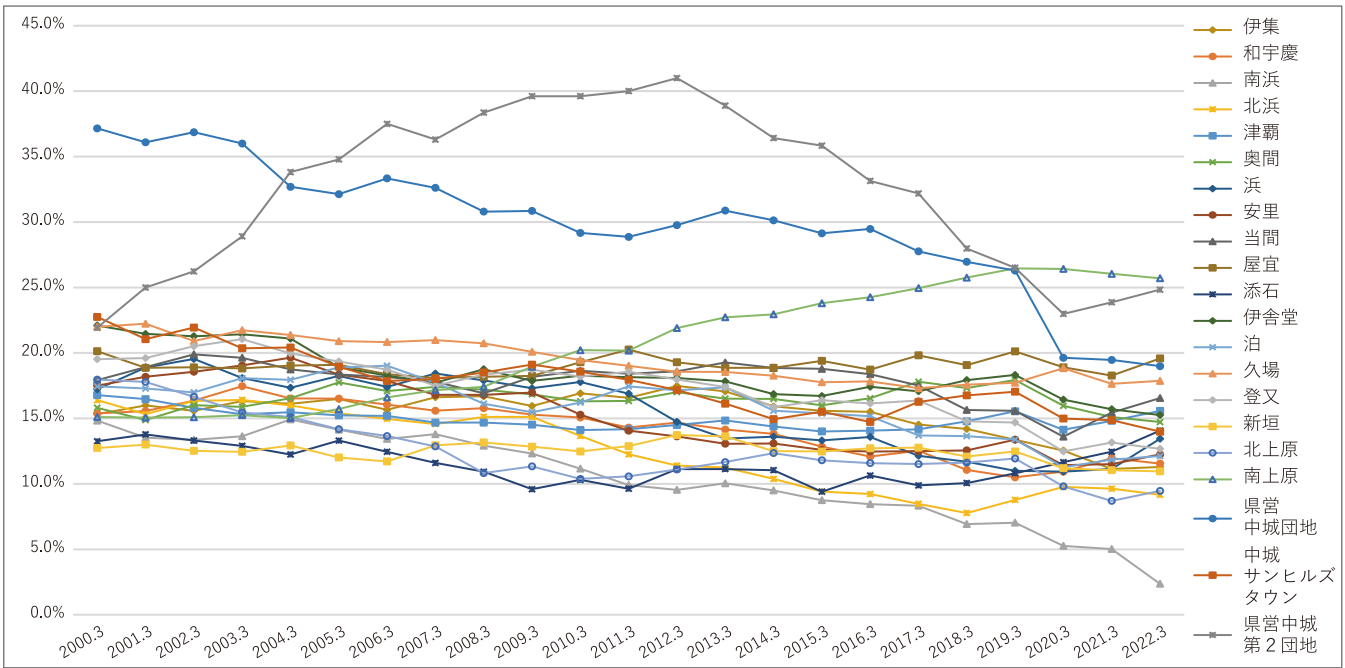
■行政区毎の人口推移

南上原の伸びが著しく、近年の本村の人口増加の大きな要因である。また、それ以外の行政区を見ると、久場が若干増加傾向である以外はほぼ横ばいとなっている。



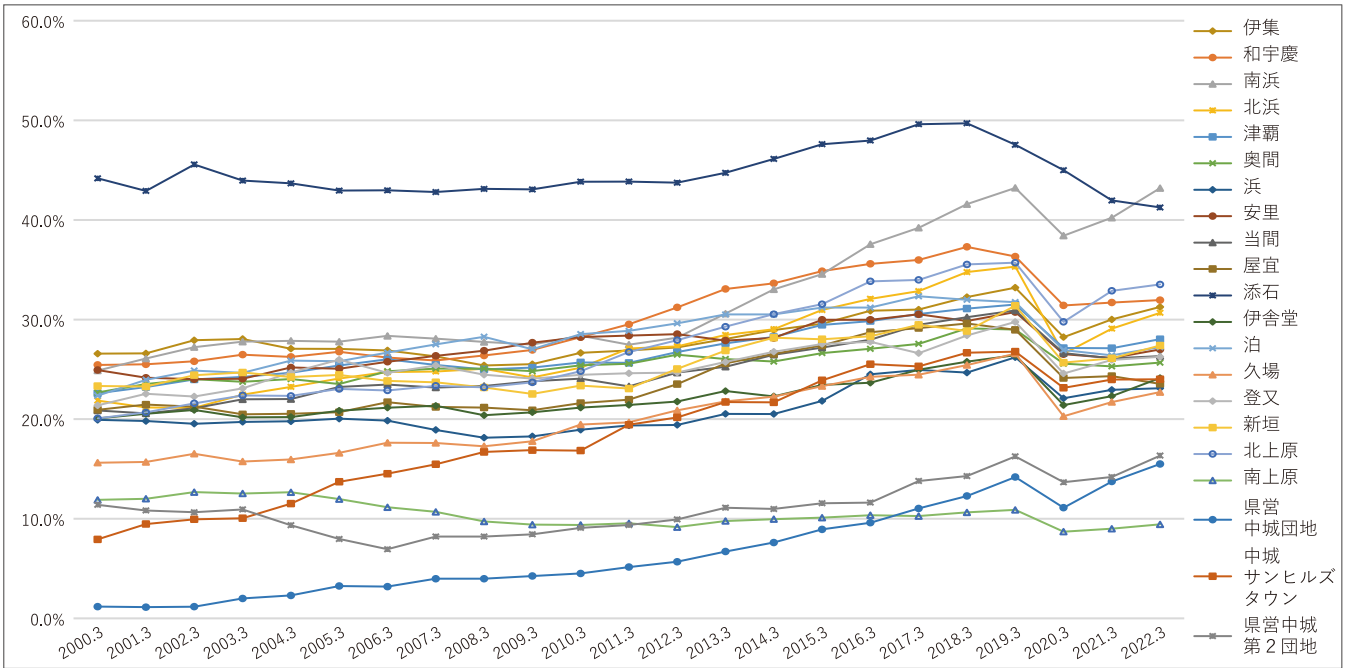
■行政区毎の年少人口比率

増加傾向にあるのが南上原、いったん増加傾向であったが近年は減少傾向にあるのが県営中城第2団地、減少傾向にあるのが南浜及び県営中城団地となっており、その他行政区は若干の増減はあるものの、大きな変化は見られない。



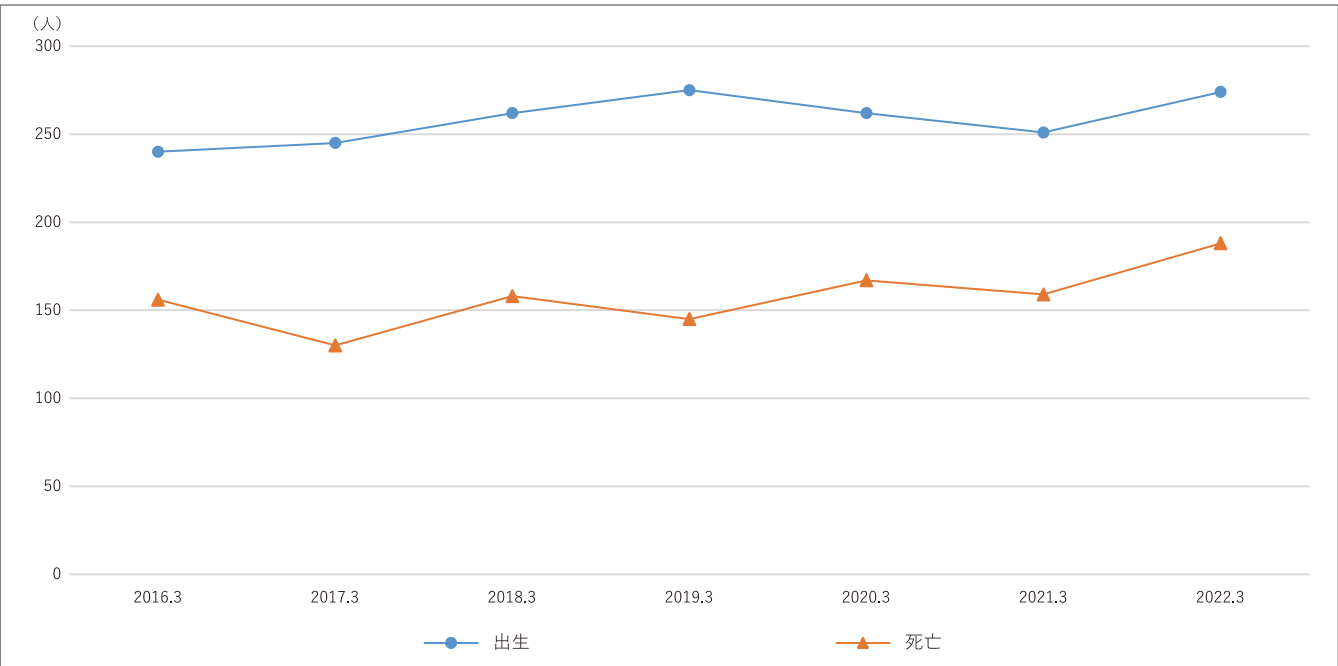
■行政区毎の高齢化率推移

南上原を除いて、高齢化率は年々伸びている傾向にある。添石は他行政区と比べて特に高齢化率が高いが、区内に特別養護老人ホームを有していることが要因と考えられる。また、南浜、県営中城団地、中城サンヒルズタウンの高齢化率が増加している。



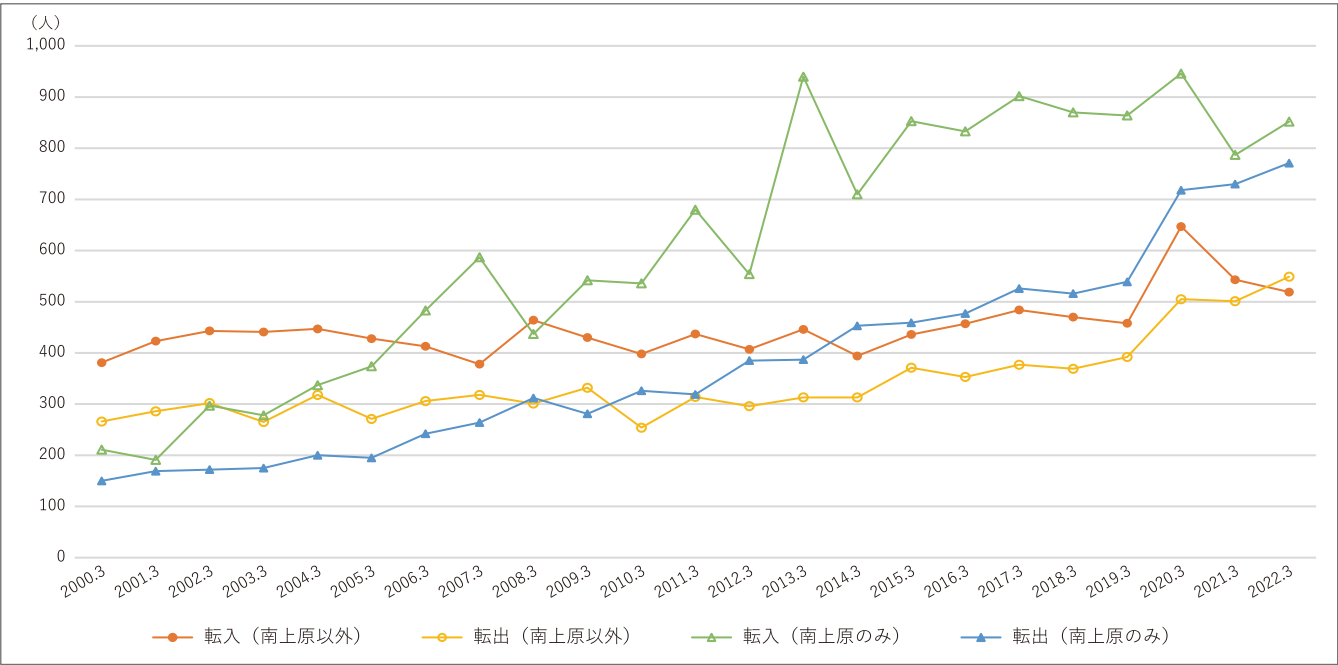
■出生死亡の経年変化

出生、死亡ともに急激な変化は見られないが、どちらかと言えば若干の増加傾向となっている。ただし、今後は高齢化の影響から、死者数の増加が予測される。



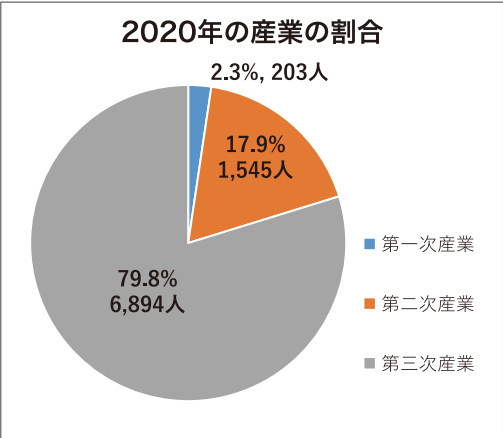
■転入転出の経年変化

転入、転出ともに増加傾向にあるが、特に南上原の転出入が多くなっている。



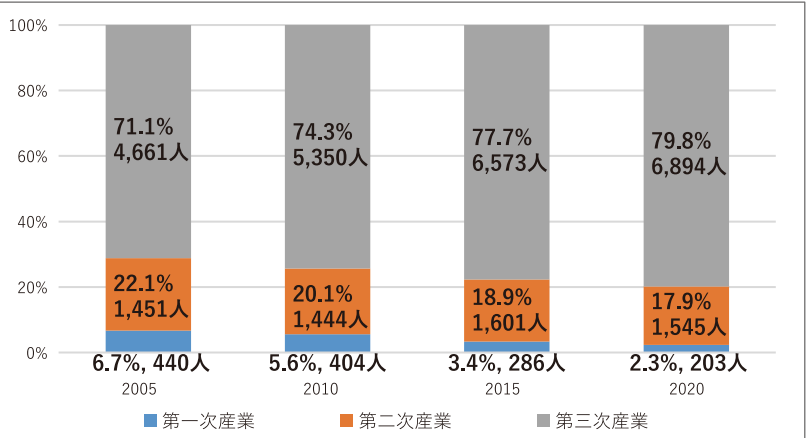
■第一次、第二次、第三次産業の割合

平成 17 (2005) 年から 5 年ごとの推移をみると就業人口全体は増加傾向であり、人口増加に比例するものと考えられる。第一次産業については就業人口、割合ともに減少傾向にある。第二次産業については、就業人口は増えているものの割合としては減少している。第三次産業は就業人口、割合ともに増加傾向である。



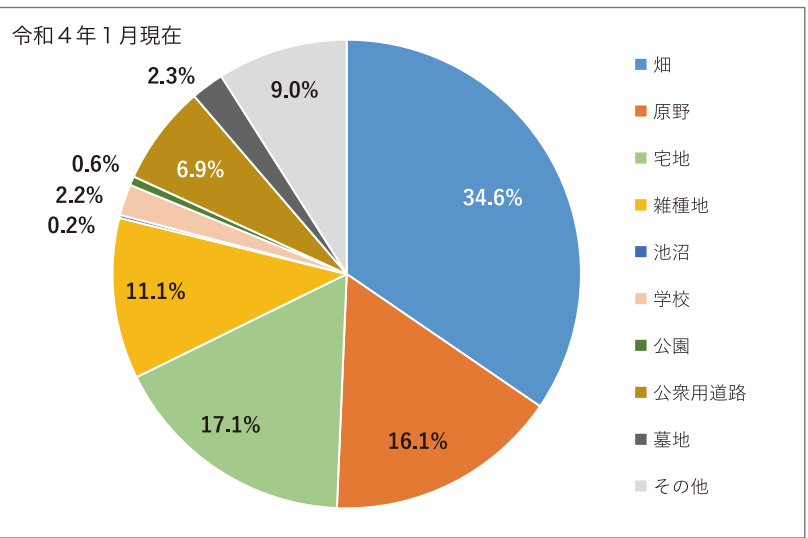
(単位: 人)

	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)
第一次産業	440	404	286	203
農業	409	372	270	188
林業	0	0	0	1
漁業	31	32	16	14
第二次産業	1,451	1,444	1,601	1,545
鉱業	3	2	1	0
建設業	1,033	959	1,056	1,068
製造業	415	483	544	477
第三次産業	4,661	5,350	6,573	6,894
卸売・小売業	1,177	1,156	1,244	1,287
金融・保健・不動産	131	225	268	287
運輸・通信業	383	501	558	512
電気・ガス・水道業	38	45	64	62
サービス業	2,658	3,101	4,021	744
公務	274	322	418	485
その他	10	315	341	379
分類不能	10	315	341	379
合計	6,562	7,513	8,801	9,021



■土地利用状況 (地目別面積)

村土の多くを市街化調整区域が占めていることもあり、全体の約 35%が「畑」である。次に斜面緑地等が該当する「原野」、「宅地」が上位に入っている。



資料編2．策定経緯

本計画の策定経緯を以下に示します。

日付	内容
R1.9.18～R1.9.19	第1回 各課ヒアリング
R1.10.8～R1.10.10	第1回 各課ヒアリング（追加）
R1.11.21	農業委員会ヒアリング
R1.11.21	保育士ヒアリング（村内認定こども園等）
R1.12.5～R2.3.31	第1回 アンケート（WEB）
R2.1.28～R2.1.29	第1回 職員ワークショップ
R2.3.24	第1回 審議会 諮問（村長→審議会）
R3.1.10～R3.3.21	第2回 アンケート（WEB）※別途委託
R3.7.26～R3.8.4	第2回 各課ヒアリング
R3.8.20～R3.10.3	第3回 アンケート（全世帯を対象に配布）
R3.12.13～R3.12.14	第2回 職員ワークショップ
R4.3.3～R4.3.10	第3回 各課ヒアリング
R4.3.17	第1回 策定委員会
R4.4.26	第2回 審議会
R4.5.26	第2回 策定委員会
R4.6.6	第3回 審議会
R4.6.28	第1回 議員説明会
R4.7.11～R4.7.31	第1回 パブリックコメント
R4.7.13～R4.7.15	第4回 各課ヒアリング
R4.7.27～R4.7.28	第3回 職員ワークショップ
R4.8.29	第3回 策定委員会
R4.9.13	第4回 審議会
R4.10.10	第1回 国土利用計画等検討委員会
R4.10.11～R4.10.13	第5回 各課ヒアリング
R4.11.21	第4回 策定委員会
R4.12.5～R4.12.16	第2回 国土利用計画等検討委員会（紙面確認）
R4.12.5～R5.1.9	第2回 パブリックコメント
R4.12.15	第5回 審議会
R4.12.19	第2回 議員説明会
R4.12.22～R4.12.23	第4回 職員ワークショップ
R5.2.6	第6回 審議会
R5.2.10	第3回 議員説明会
R5.2.13	審議会 会長調整
R5.2.15	審議会 答申（審議会→村長）
R5.2.15	村長調整
R5.3.3	議会提案
R5.3.7	議案可決（議案第28号 中城村第五次総合計画について）

資料編3．検討体制

（1）中城村総合計画審議会

①委員名簿

氏名	所属・役職	選出区分	備考
新垣 安明	中城村商工会 事務局長	産業関係	前任：呉屋正幸
比嘉 善彦	J Aおきなわ中城支店 支店長	産業関係	前任：比嘉守明
名幸 真理	北中城村役場 税務課 係長	行政関係／労働団体	
山城 司	与那原町役場 企画政策課 課長	行政関係	
安田 智	中城村立中城中学校 前校長	教育関係	前任：徳村永盛 （中頭教育事務所 元所長）
神谷 大介	琉球大学工学部 准教授	教育関係	会長
平安 玲子	平安幼稚園 園長	教育関係	
米須 さおり	沖縄銀行なかぐすく支店 支店長	金融関係	前任：山城敏、大城歩
儀間 正明	中城村社会福祉協議会 事務局長	福祉関係	
比嘉 春代	ひよこの家保育園 園長	福祉関係	副会長
張世 陰峰		村民公募	～R4.9月まで
伊東 悠香			
伊佐 智樹			
與那嶺 竜太			～R4.9月まで

■事務局
中城村役場 企画課 課長 比嘉 健治
係長 比嘉 秀哉（前任：新屋敷 幸龍）



②検討内容

審議会での検討概要について以下に示します。なお令和2（2020）年4月～令和4（2022）年3月については、新型コロナウイルス感染症の影響により未開催となっています。

【第1回】 ■会議内容 ・委嘱状交付 ・策定スケジュールについて ・職員ワークショップの報告	令和2年3月24日／中城村役場多目的会議室 ・計画の目的と課題 ・アンケート結果報告 ・統計データについて ・各課ヒア、団体ヒアの報告
【第2回】 ■会議内容 ・委員紹介 ・第五次総合計画の方向性について	令和4年4月26日／中城村役場議会委員会室 ・策定スケジュールについて ・アンケート結果報告 ・施策大綱の構成変更について
【第3回】 ■会議内容 ・前回委員会の振り返り ・総合計画基本構想の構成について	令和4年6月6日／中城村役場2階会議室 2-3 ・アンケートからみる中城村の課題分析 ・基本構想案
【第4回】 ■会議内容 ・前回委員会の振り返り ・第五次総合計画素案について	令和4年9月13日／中城村役場議会委員会室 ・パブリックコメントにおける意見報告 ・重点プロジェクトについて
【第5回】 ■会議内容 ・前回委員会の振り返り ・基本理念の追加について	令和4年12月25日／中城村役場議会委員会室 ・パブリックコメントにおける対応方針 ・基本計画について ・スケジュールについて
【第6回】 ■会議内容 ・前回委員会の振り返り ・パブリックコメントにおける意見報告	令和5年2月6日／中城村役場議会委員会室 ・議会での指摘事項と対応方針 ・第五次総合計画（素案）について

（2）中城村総合計画策定委員会

①委員名簿

氏名	所属・役職	備考
浜田 京介	中城村 村長	会長
比嘉 忠典	中城村 副村長	副会長
比嘉 良治	中城村 教育長	
與儀 忍	総務課 課長	
比嘉 健治	企画課 課長	事務局長
大湾 朝也	税務課 課長	
義間 清	住民生活課 課長	
照屋 淳	福祉課 課長	
仲松 範三	健康保険課 課長	
比嘉 昌子	こども課 課長	
稲嶺 盛昌	産業振興課 課長	
仲村 盛和	都市建設課 課長	
金城 勉	まちづくり推進課 課長	
仲村 武宏	上下水道課 課長	
徳元 睦	会計課 課長	
我謝 慎太郎	教育総務課 課長	
渡久地 真	生涯学習課 課長	
比嘉 保	議会事務局 局長	



②検討内容

策定委員会での検討概要について以下に示します。

【第1回】 ■会議内容 ・目標人口について ・マイノリティ、気候変動などの社会課題について	令和4年3月17日／中城村役場会議室
【第2回】 ■会議内容 ・審議会報告 ・アンケート調査報告 ・基本構想について ・土地利用方針について ・村の目標人口について ・村民意見を取り入れる方法について	令和4年5月26日／中城村役場会議室
【第3回】 ■会議内容 ・審議会報告 ・パブリックコメント意見報告 ・重点施策について ・素案について	令和4年8月29日／中城村役場会議室
【第4回】 ■会議内容 ・前回委員会の振り返り ・パブリックコメント意見報告 ・計画書の構成について ・土地利用構想について ・全体スケジュール	令和4年11月21日／中城村役場会議室

(3) 中城村国土利用計画等検討委員会

①委員名簿

氏名	所属・役職	備考
比嘉 忠典	中城村 副村長	会長
比嘉 良治	中城村 教育長	副会長
與儀 忍	総務課 課長	
比嘉 健治	企画課 課長	
義間 清	住民生活課 課長	
稲嶺 盛昌	産業振興課 課長 兼農業委員会 事務局長	
仲村 盛和	都市建設課 課長	
金城 勉	まちづくり推進課 課長	
仲村 武宏	上下水道課 課長	
渡久地 真	生涯学習課 課長	

②検討内容

中城村における土地の総合的かつ計画的な有効利用について調査、検討し、村土の均衡ある発展を図るために設置されます。第五次総合計画における土地利用の基本方針等について審議し、土地利用構想を取りまとめました。

(4) 職員ワークショップ

【第1回】

2020年1月28日 10:00～12:00、15:00～17:00
1月29日 10:00～12:00、15:00～17:00

プログラム
1. ワークショップの主旨
2. 中城村の今を知る
・統計データからみた本村
・他都市の事例～負の将来像として
3. 役割とワークの進め方
4. ワーク① 中城村において問題となっていること
ワーク② 今、取り組むべきこと「3つの重点施策」
5. 発表

若手～中堅職員が、「村長」や「課長」役になる前代未聞のワークショップ。事務局は不安になりながら、当日を迎えました。冒頭の村の現状報告では、真剣にメモする姿も見られ、ワークがはじまると、各村長が口火を切って発言する姿が各村で。事務局の予想を覆す大盛り上がりに一安心でした。若手職員からは、「ロングビーチの創出やクルーズ船の誘致」など、夢がありつつも、「将来村に戻ってきてもらえる地域づくり」などの村の将来を真剣に見据えた施策が数多く出てきました。

一方、中堅世代の職員からは、「税制優遇や補助金などの支援」など、村の財政に配慮した施策が出るなど、世代による課題解決のアプローチの違いも興味深いものがありました。

今回は「村長」や「課長」という、村の中核に自分をおくことで、いつもとは違う視点で中城村の未来を考えることができたのではないのでしょうか。各村長が演説したテーマや3つの施策は、みなさんも驚くような8村8色のカラーが前面に出たものになっていると思います。

【第2回】 2021年12月13日 15:00～17:00
12月14日 9:00～11:00、13:00～15:00

プログラム

1. 2050年に直面する中城の課題に立ち向かえ！
2. 30年後の中城現状を知ろう
3. ワーク① 優先度の低い分野を考える
ワーク② 高齢化対策の施策を提案する
4. 発表

優先度の低い分野を考えるについて、みなさんは、「30年後はいらなくなっているだろう」「村民と協働で行えばもっと予算削減できるはず」「民間委託してもいいのではないか」など色々な視点で、優先度の低い分野を考えました。

また、高齢化対策のための施策は「高齢者へ直接アプローチするもの」「税収のUPに貢献するもの」「全村民が暮らしやすい村にするためのもの」など色々な方向からのアプローチが見られました。事務局の予想を超えた大胆な施策提案もあり、面白い結果となりました。

ミッション2：高齢化対策のための施策を検討する

【12月13日 15:00～17:00】

グループA：Settle down Promotion!

課題・目標
商業施設の増加（商圏の取れる学校なども近づくにあるといふ）

施策・評価
雇用が生まれる
交通の利便性向上、定住

グループB：働きざかりの世代定住促進
～主婦に郷を走り続ける村～

課題・目標
働きざかり世代を呼び込む。定住させる村を築く
定住促進に向けた施策（オンライン学習等）
下地区のスーパー整備・宅配UP

施策・評価
定住し、土地利用の活性化

グループC：住みやすい村

課題・目標
村東側の道路半通の確保
スクールバスの充実

施策・評価
買物や通学、公共交通機関など
日常生活が不便なところを解消されるため

グループD：高齢者の収入UP

課題・目標
安楽な生活へ移行・移行
アップグレード型の施設
一歩踏み出す高齢者の確保

施策・評価
高齢者が収入になり労働意欲、収入UP

【12月14日 9:00～11:00】

グループA：役場に求なくて良い村

課題・目標
役場を求めない村づくりの推進
役場から求めない村づくりの推進

施策・評価
役場が求めているサービスを受けられる
役場が求めているサービスを受けられる
役場が求めているサービスを受けられる

グループB：セレクトという財産

課題・目標
セレクトタウンを創って役場をアップ

施策・評価
役場が求めているサービスを受けられる
役場が求めているサービスを受けられる
役場が求めているサービスを受けられる

グループC：働きざかり世代を取り込む村

課題・目標
企業誘致
校舎UP、雇用創出
土地確保、整備、交通整備が課題

施策・評価
健康増進～医療費削減
医療費削減～医療費削減
医療費削減～医療費削減

グループD：民間との協働でのまちづくり

課題・目標
民間との協働によるまちづくり
民間との協働によるまちづくり
民間との協働によるまちづくり

施策・評価
健康増進～医療費削減
医療費削減～医療費削減
医療費削減～医療費削減

ミッション1：「優先度の低い分野は？」ランキング

第1位 「スポーツキャンプ等の誘致」 20票

なんと22グループのうち20グループが優先度が低い分野として選びました。その理由は「村にお金が落ちない」「雇用創出がない」「費用対効果が高い」「サッカーキャンプ以外でも村の活性化はできる」「管理にお金がかる」などが理由として挙げられました。

第2位 「気候変動への対応」 10票

こちらは前半戦のグループから支持されました。理由としては「村として行うにはスクールが充実するまで待たなければならない」「国や県の施策で良いのではないのか」「民間主導にしては、などの意見が挙げられました。

第3位 「働きやすい環境整備」「墓地対策の推進」「平和行政の推進」 各3票

ここからはもっと少なくなりました。各グループで意見が割れました。この3つの分野としては「働きやすい環境整備」は「中城はベッドタウンでは？」「雇工の確保とまとめて一つにしては？」という意見。「墓地対策の推進」では「村が実施すべき事業なのか」「そもそも墓地が満ちている」という意見。「平和行政の推進」では「村民の暮らしに直接の影響がない」「学校教育と一緒にすれば良い」といった意見が挙げられました。

それ以下のランキング	
順位	分野
2票	文化事業の推進、公共施設の整備 交通事業の推進、子育て支援の推進 村民生活の向上と福祉の向上 防災・防犯の推進、防災意識の向上 観光の推進
1票	文化財の保存継承を行う、文化財の活用を推進し、観光の推進 経済と産業を推進し、雇用の創出、産業の育成 教育・文化施設の整備、子育て支援の推進 防災・防犯の推進、防災意識の向上 観光の推進

みなさんは、「30年後はいらなくなっているだろう」「村民と協働で行えばもっと予算削減できるはず」「民間委託してもいいのではないか」など色々な視点で、優先度の低い分野を考えました。
では、選んだ分野で30年後の中城対策のためにどんなことができる、またはどんなことをしたら良いでしょうか。
検討した結果にタイトルをつけて、発表してもらいましょう。
ではどうぞ！



【第3回】 2022年7月27日 13:30～15:30
7月28日 10:00～12:00、13:30～15:30

プログラム

1. 本日のゴール
 - ・「伝わる」or「伝わりにくい」の判断基準を身に付ける
 - ・「なんとなく」を分解・分析して「言語化（説明）」できるように
2. 広報って知ってますか？
 - ・広報するターゲットを定める
 - ・目を引くキャッチコピーをつくる
 - ・デザインレイアウトの4原則
3. ワーク
4. 発表

2 キャッチコピー
【個人・グループワーク】
「中城村への定住促進」の
キャッチコピーを考えてみよう！

ルール
・題名を同じを置いて20文字以内
・ターゲットは、中城村で生活する人、子どもを持つ世帯
・シェアしたくなるものが目標

1回目
7月27日
13:30-

2回目
7月28日
10:00-

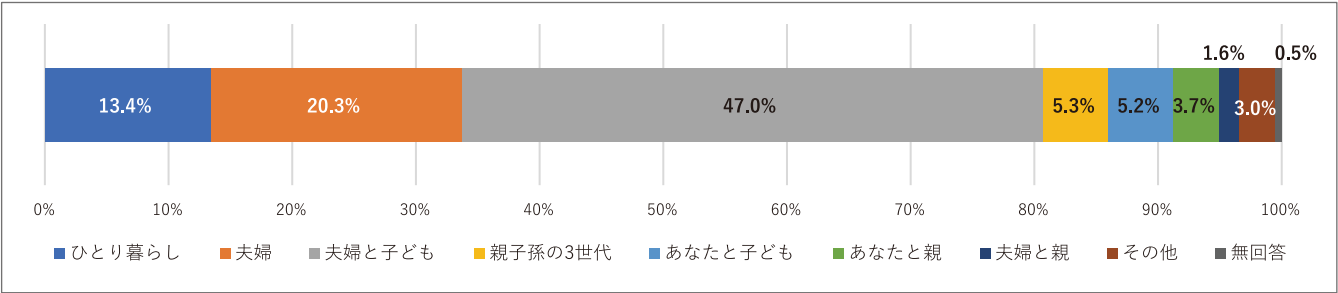
3回目
7月28日
13:30-

この第3回ワークショップでは、第1回と第2回で考えていただいた施策や取組みを伝えるための、「広報」のテクニックをつかんでいただきました。

個人ワークで、考えるのに苦戦する様子も見られましたが、それぞれの業務での広報物をイメージしたターゲット設定ができていました。キャッチコピーのワークでは、まずひとりずつ付箋に書いてもらい、その後グループで意見をまとめていただきました。短い時間でしたが、勢いで良いコピーが生まれたり、感情豊かに読み上げてくださったりと、皆さんのノリの良さで楽しく終えることができました。

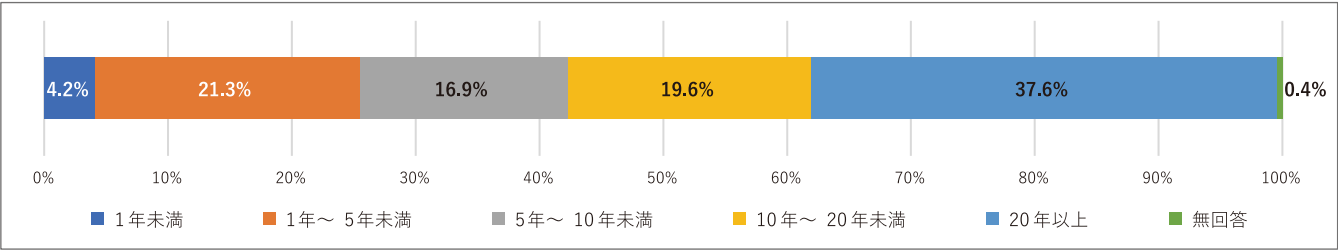
【家族構成】

「夫婦と子ども」と答えた世帯が半数近くを占めている。第四次総合計画策定時に実施したアンケートと比較すると、「夫婦」と答えた人の割合が5.3%の増加、「夫婦と子ども」と答えた人の割合が2.5%増加しているのに比べて「親子孫の3世代」と答えた人の割合は8.3%減少している。



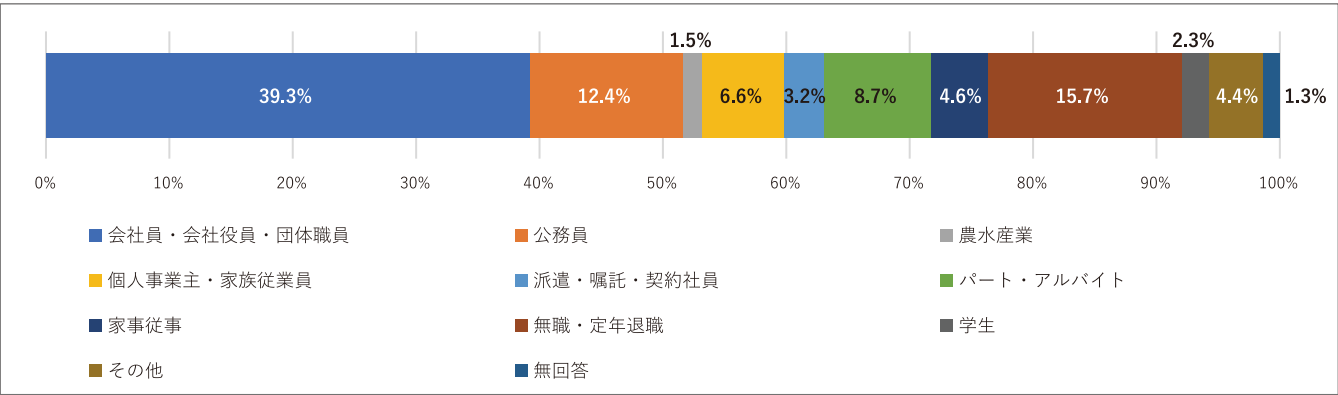
【居住年数】

「20年以上」と回答した人が最も多く、次いで「1年～5年未満」となっている。南上原地区の回答者の割合が多かったことや昨今の村への転入超が要因であると推察される。



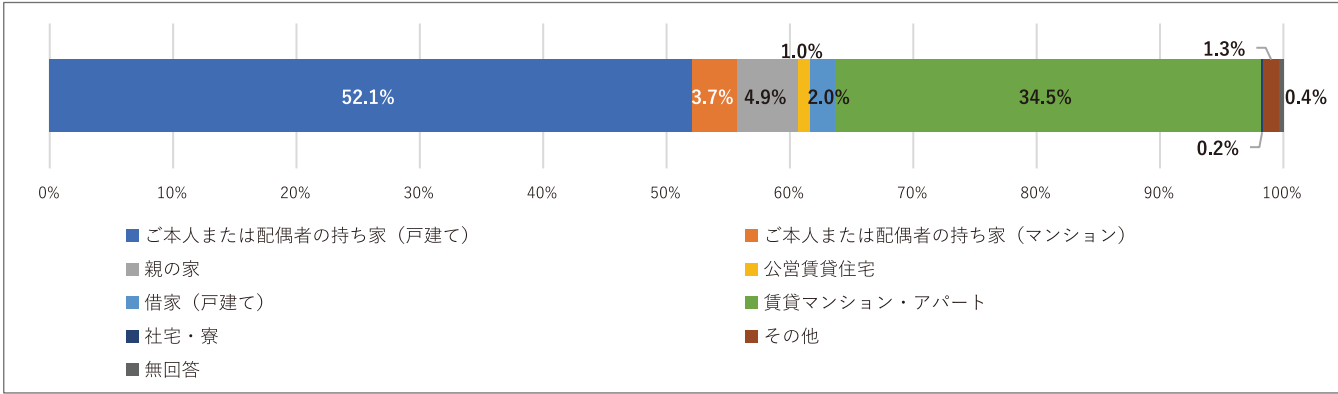
【職 業】

「会社員・会社役員・団体職員」が最も多く、次が「無職・定年退職」となっている。定年退職の可能性が高い60歳代以上は全体の約32%であるが、コロナ禍による失業等も考えられることから、学生を除く20歳未満～50歳代までの「無職・定年退職」の割合にも注意する必要がある。



【居住形態】

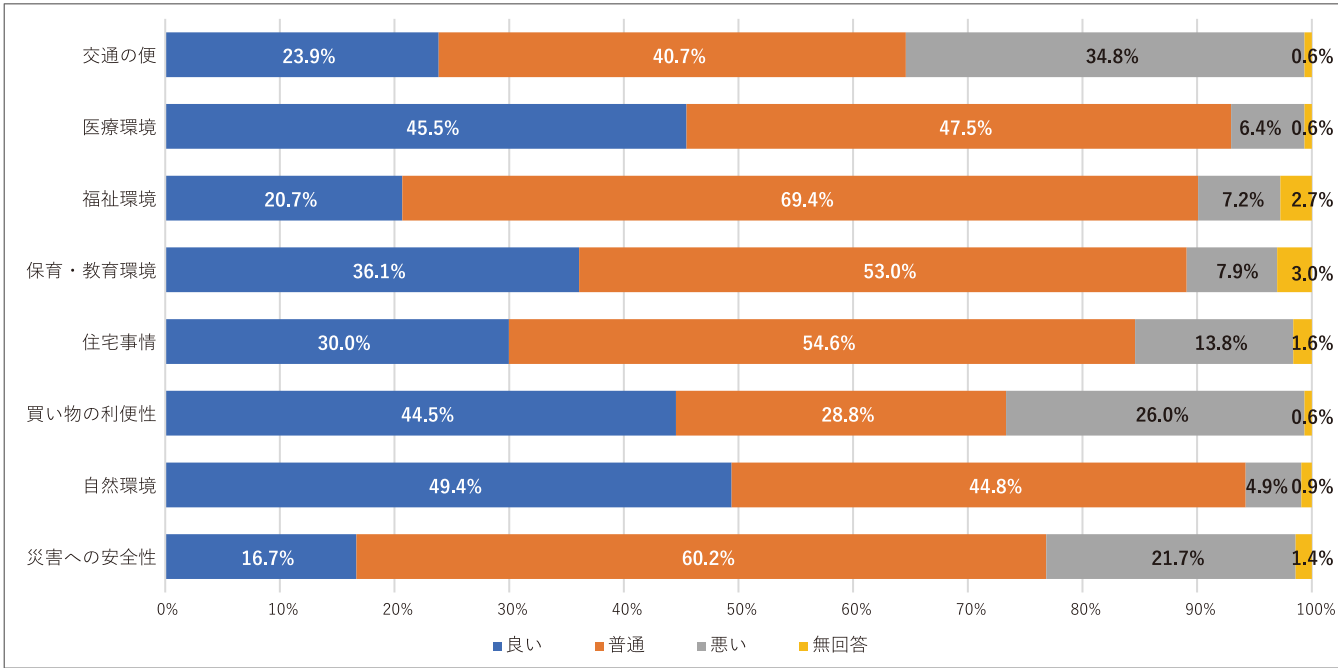
「ご本人または配偶者の持ち家(戸建て)」が半数以上を占めた。「ご本人または配偶者の持ち家(マンション)」「親の家」まで含めると持ち家の回答率は6割を超えている。次いで「賃貸マンション・アパート」が34.5%と続くが、これは南上原居住の回答者が多いことが要因と考えられる。



■あなたの身のまわりの生活環境について

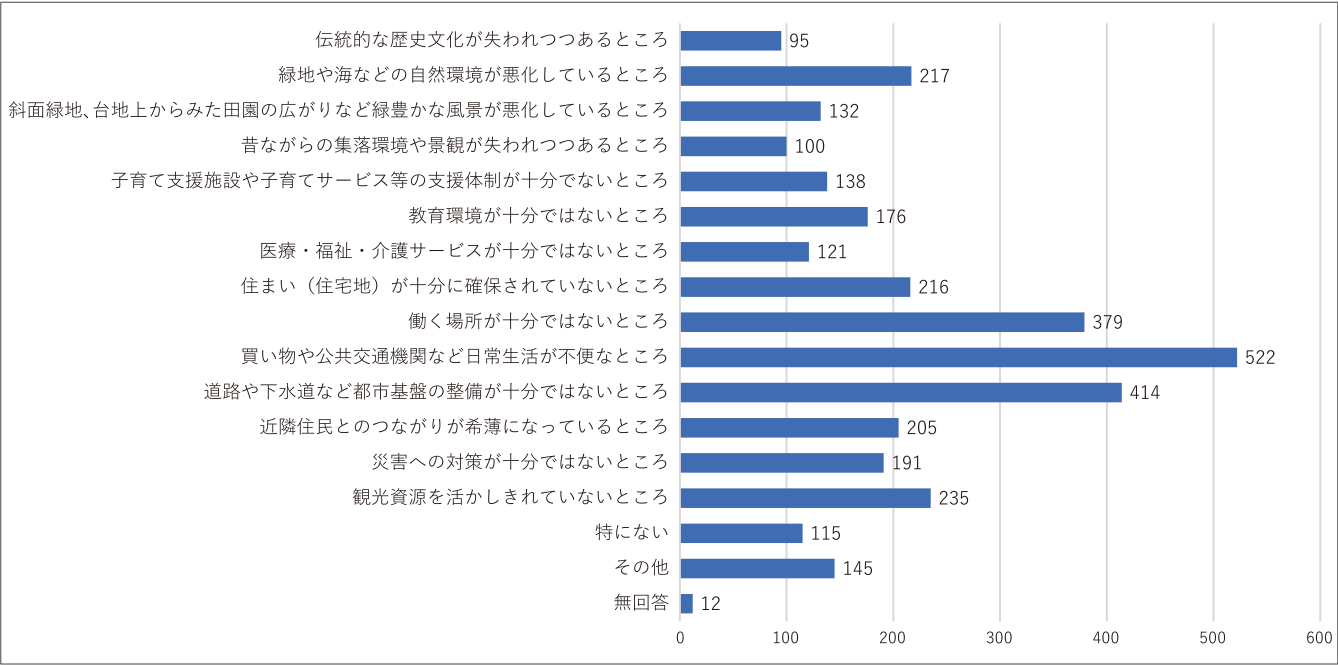
問1【生活環境に対する評価】

身のまわりの生活環境について比較的「良い」が多かったものは「医療環境」「保育・教育環境」「買い物の利便性」「自然環境」であり、逆に比較的「悪い」が多かったものは「交通の便」「買い物の利便性」「災害への安全性」であった。「買い物の利便性」については「良い」と「悪い」が両方多くっており、これについては回答者の居住地や年齢を加味して再度分析を行う必要がある。



問2【中城村の課題（3つまで）】

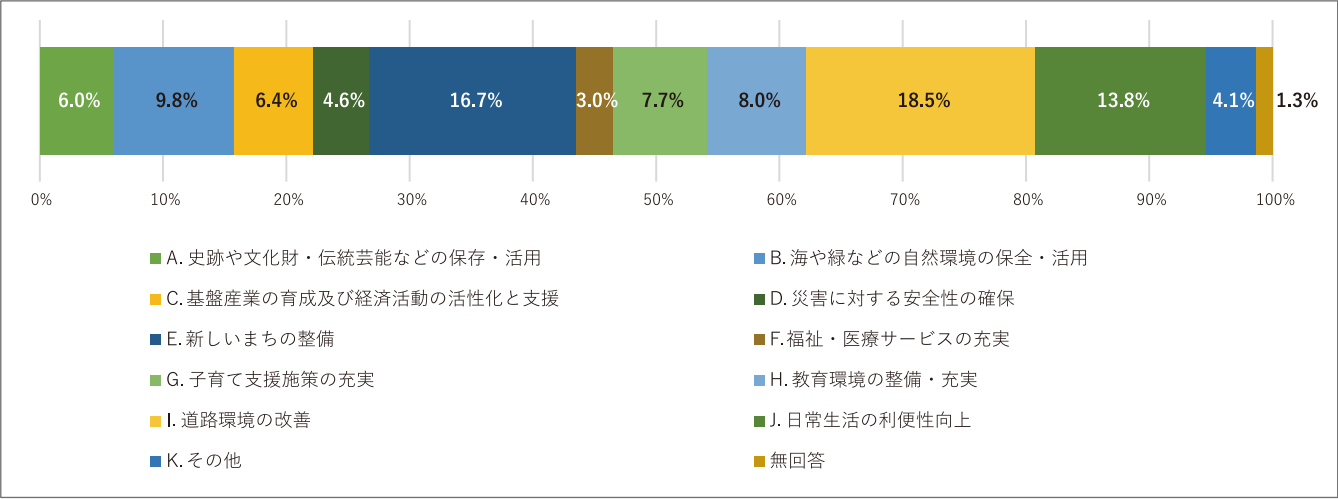
中城村の課題として、「買い物や公共交通の不便さ」「道路や都市基盤の整備の不十分さ」「働く場所の不十分さ」が上位3つとなり、村内で生活していく上での基盤となる部分について特に課題であると認識されている。



問3【村の将来イメージ】

大項目については、「I 道路環境の改善」「E 新しいまちの整備」「J 日常生活の利便性向上」が上位3つとなっており、都市計画や基盤整備への取組みを望む意見が多く見られた。逆に「F 福祉・医療サービスの充実」や「D 災害に対する安全性の確保」については回答数が低くなっている。

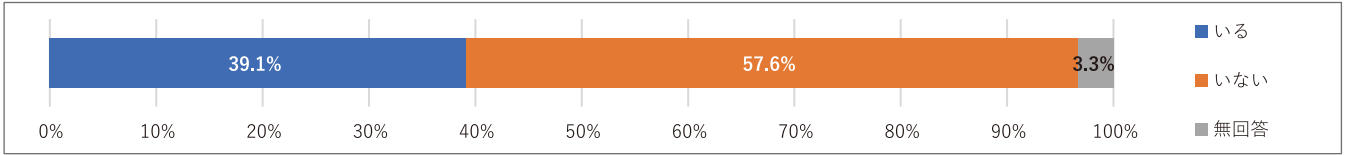
将来イメージをさらに詳しく見ていくと、特に多いのは「市街地とつながる幹線道路の整備を進める」「南上原を拡大する形であたらしいまちを整備する」「村外へ移動できる公共交通の導入を図る」が回答として多く、基盤整備や交通網の整備拡充を望む意見が聞かれた。



■子育てについて

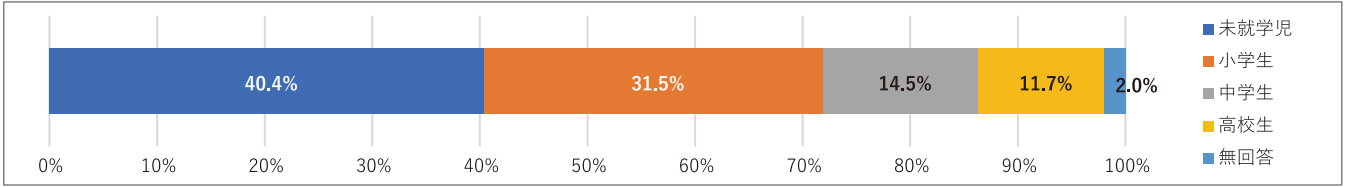
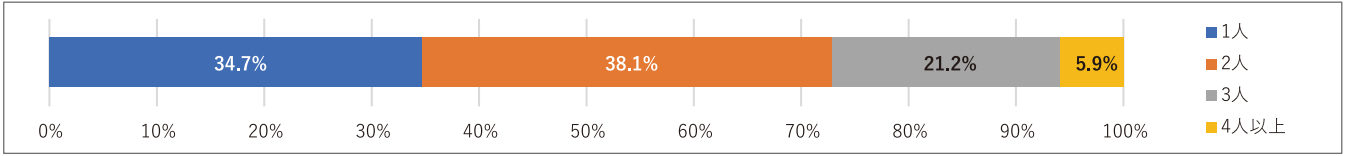
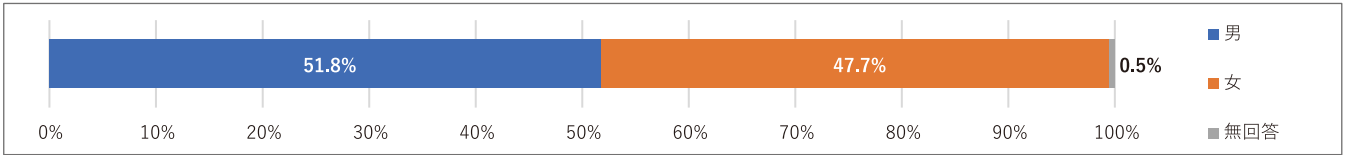
問4【子どもの有無】

子どもが「いる」と答えた人の割合は39.1%であった。ただし3世代同居の家庭があるため、自分の子ではなく孫である可能性も少数ではあるが考えられる。



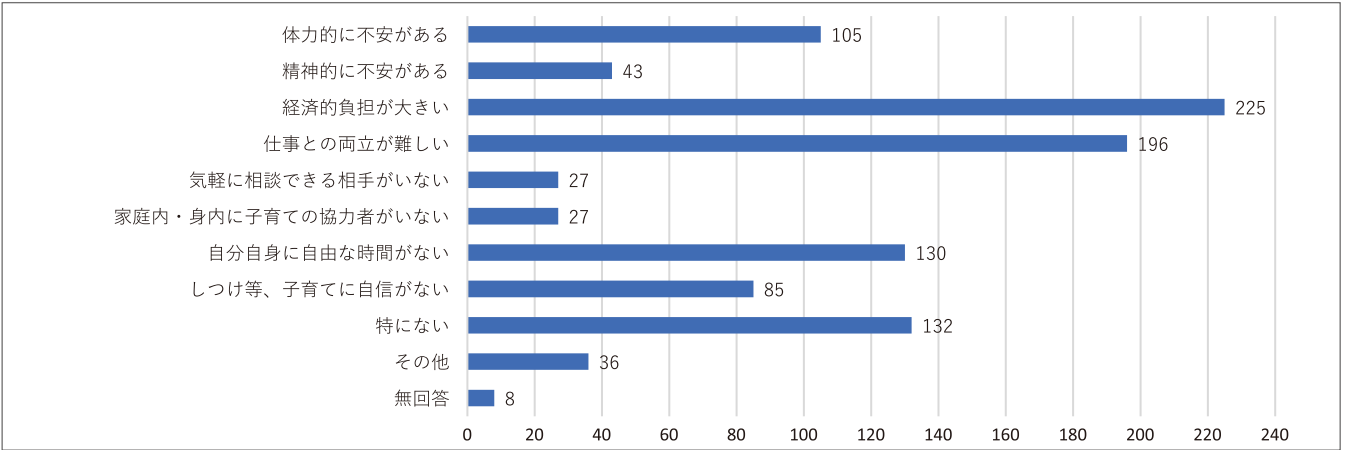
問5【子どもの性別・年齢／学年・人数について】

性別について「男」が若干多いものの特に偏りのない結果である。子どもの人数は「1人」「2人」が割合として高く、「4人以上」は1割に満たない割合である。子どもの年齢、学年については「未就学児」が最も多く、次いで「小学生」「中学生」「高校生」である。



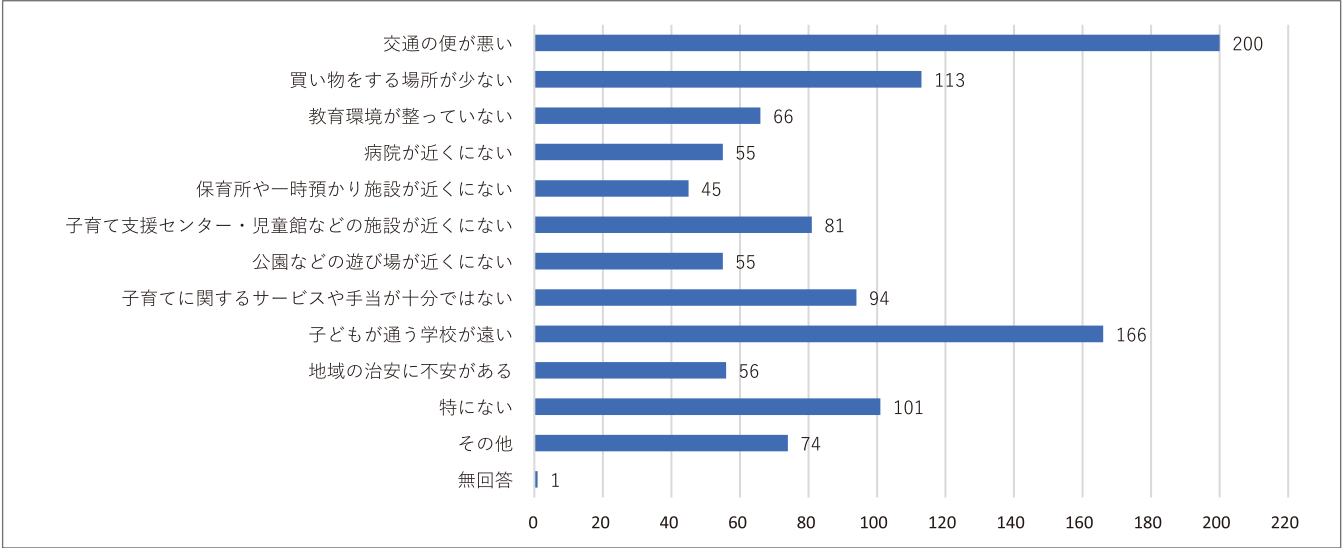
問6【子育て中の悩みや心配について】

「経済的負担」と「仕事との両立」が特に多くなっている。逆に「精神的に不安」「相談相手がいない」「家庭内・身内に協力者がいない」という設問については回答数が低くなっており、地域も含めた身近な部分で子育ての協力を得ることができている人が多いと考えられる。また「特にない」という回答も多かった。



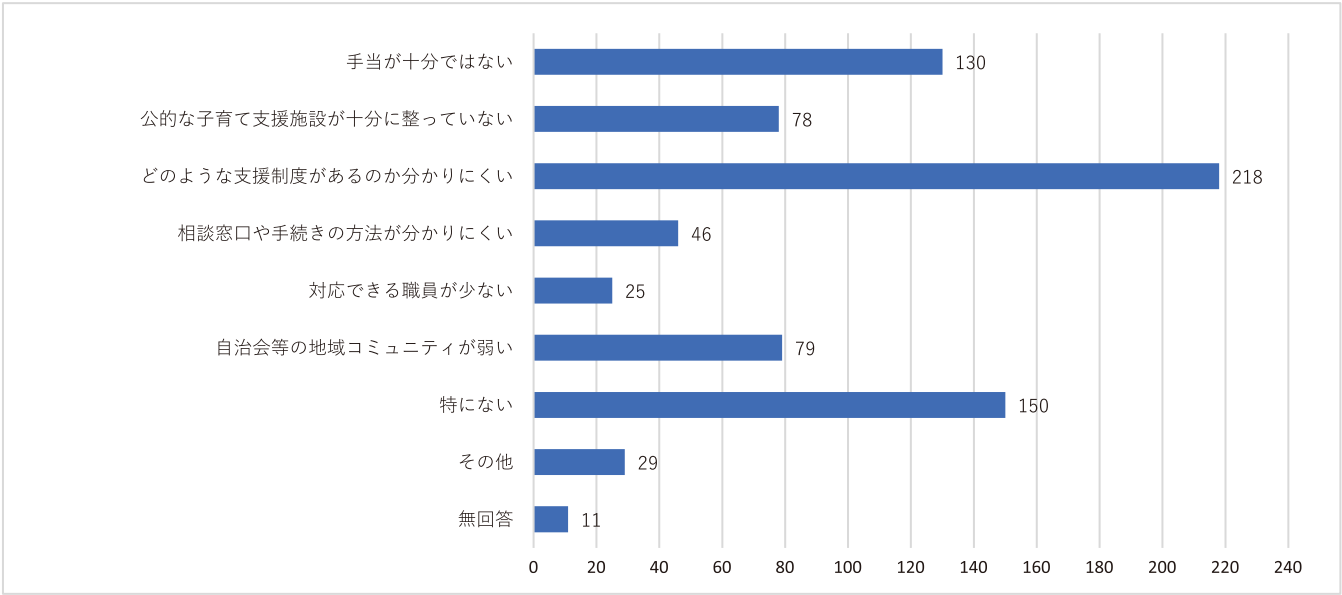
問7【子育てしにくいと感じるところについて】

「交通の便が悪い」が圧倒的に多かった。また「子どもが通う学校が遠い」も併せて多くなっており、遠方の小中学校への登下校の不安もこの2項目への回答数が多かった要因として考えられる。



問8【子育て・教育支援体制や制度について】

「どのような支援制度があるのかわかりにくい」という回答が圧倒的に多かった。また「手当が十分ではない」という回答も多く、問6において「経済的支援」「仕事との両立」が課題として挙げられたことにつながると考えられる。



資料編 5. 総合計画の各施策と SDGs の関係

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは平成 27（2015）年の国連サミットで採択された令和 12（2030）年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標で、17 のゴール・169 のターゲットから構成されています。本計画の推進においても、SDGs の理念である「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」は重要なものであることから、17 のゴールに照らして各施策を推進するものとします。

ゴール	ゴールの内容	ゴール	ゴールの内容
	地球上のあらゆる形の貧困をなくそう		災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう
	飢えをなくし、だれもが栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう		世界中から不平等を減らそう
	だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう		だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくろう
	だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう		生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう
	男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう		気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう
	だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう		海の資源を守り、大切に使おう
	すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう		陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使おう
	みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう (2025 年までに、子どもの兵士をふくめた、働かなければならない子どもをなくそう)		平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくろう
			世界のすべての人がみんなで協力しあい、これらの目標を達成しよう

(ゴールの内容は日本ユニセフ協会 HP より引用)

■ 中城村第五次総合計画（前期基本計画）における各分野と SDGs「17 のゴール」の関係

分野	1 家族を なくそう	2 健康を 守るに	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレを 世界中に	7 エネルギーを みんなに
1-1 母子保健の推進	●		●				
1-2 子育て支援の充実	●	●	●	●	●		
2-1 保育・幼児教育の充実			●	●			
2-2 学校教育の推進			●	●			
2-3 交流事業の推進				●			
2-4 食育の推進		●	●	●			
3-1 保健事業の充実			●				
3-2 健康づくりの推進			●				
3-3 国民健康保険の充実			●				
4-1 地域福祉の充実			●				
4-2 高齢者福祉の充実			●				
4-3 障がい者福祉の充実	●		●				
4-4 国民年金の充実	●		●				
5-1 生涯学習の充実				●			
5-2 学習拠点の整備				●			
5-3 生涯スポーツの推進			●				
6-1 人権の尊重と男女共同参画の推進					●		
6-2 地域共生社会の推進			●		●		
7-1 平和行政の推進				●			
8-1 自然環境の保全				●			
9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進							
9-2 気候変動への対応							●
10-1 歴史環境の保存・活用				●			
10-2 伝統文化・民俗芸能の継承				●			
10-3 住民意識の高揚及び周知啓発				●			
11-1 均衡のとれた土地利用の推進							
11-2 公共施設の整備							●
11-3 道路整備の推進							
11-4 公共交通の拡充			●				●
11-5 雨水排水の強化							
11-6 上下水道の充実						●	
12-1 住環境の向上							
12-2 公園緑地の管理							
12-3 景観の形成						●	
12-4 墓地対策の推進							
13-1 農業の振興		●					
13-2 水産業の振興		●					
13-3 商工業の振興							
13-4 働きやすい環境整備	●				●		
13-5 観光の振興			●				
13-6 特産品の開発							
14-1 交流事業の推進				●			
14-2 スポーツキャンプ等の誘致			●				
15-1 防災施設の整備							
15-2 防災体制の強化							
16-1 消防・救急体制の強化							
16-2 交通安全対策の強化							
16-3 防犯対策の推進							
17-1 協働によるまちづくり							
17-2 村民が参加・活躍する場の充実					●		
18-1 行政サービスの向上							
18-2 行財政の確立							

[illegible]

中城村第五次総合計画 基本構想・基本計画（前期）
（第Ⅱ期中城村まち・ひと・しごと創生総合戦略）

発行：令和 5（2023）年 3 月

編集：中城村役場 企画課

〒 901-2493 沖縄県中頭郡中城村字当間 585 番地 1

TEL：098-895-2138 Fax：098-895-3048



沖縄県中城村
Nakagusuku Village